

ほっ

2014年度 No.09

TOSHOKAN

HOTな情報が満載！

topic

こんなときどうする？「図書館防災メソッド」
おしらせ「冬休み期間長期貸出について」

こんなときどうする？

図書館防災メソッド



いつ起こるかわからない地震や火災、
本がたくさんある図書館は危険な場所になります。
そんな、いざという時のための防災術をご紹介します！

安全を確保しよう！

➤ 窓際や書架から離れる

窓ガラスが割れたり、本が落ちてくる危険があります。
可動式書架のロックは、安全のため日ごろからかけるようにしておきましょう。

➤ 自分の身を守る

地震の場合は机の下など安全な場所に隠れ、頭を腕や持ち物でかばいましょう。
火災の場合は煙を吸わないようにハンカチなどで鼻と口を覆いましょう。

➤ エレベーターは使わない

エレベーターが動かなくなり危険なので、避難する時は階段で！
エレベーターに乗っているときに地震が来た場合は揺れが
収まってからすぐに降りましょう。
ドアが開かない場合は、**非常呼出ボタン**を押し続けてください。



スタッフの指示に従い、落ち着いて避難しよう！

災害発生を知らせる館内放送後、図書館スタッフの指示に従い避難します。
あわてず慎重に行動しましょう。

※火災の場合は指示を待たず、各自火の気のない経路を選んで避難。
その後、**各図書館毎の避難先**に集まり、安否確認を行います。



中央図書館
工学部フレイザー図書館



池田記念講堂

看護学部白樺図書館



創大門

☑ 図書館の安心・安全設備

図書館内には緊急時の避難救助活動をスムーズにするための安全設備が備え付けてあります。

たとえば

AED



心室細動を起こした人に取り付け、電気ショックを与えて、心臓の働きを取り戻すための救命機器。特別な知識のない人でも操作できる装置。

イーバック+チェア



地震や火災、停電などエレベータが使用できない時に、要援護者やけが人など歩行困難な方を上層階から階段を利用して安全に避難させることが出来る車イス。

消火器



どこにどんな安全設備があるか
チェックしておくといいかもしれませんね

初期の火災の消火に使う持ち運びの出来る器具。

安心・安全設備一覧

	中央図書館	工学部 フレイザー図書館	看護学部 白樺図書館
消火器	閲覧室に11本 書庫に15本	各フロアに 1本ずつ	フロア内に2本
AED	1F 閲覧室	工学部棟 1Fロビー	看護学部棟 1Fロビー
イーバック +チェア	4F中国館前	なし	なし

防災の第一の要は、日頃の備え！

普段から「今ここで災害が起きたらどうするか」と考えてみるのが、いざという時の身の安全につながります！

12月のおしらせ

冬休み期間の長期貸出をはじめます

教職員・大学院生・
通教生・学外利用者
の
4週間貸出者

→ 12月8日(月)～12月17日(水)

学部生・別科生・短大生
の
2週間貸出者

→ 12月8日(月)～12月22日(月)

一斉返却日は**1月14日(水)**です

※雑誌・語学学習用雑誌・音楽CD・語学学習用CDは、
長期貸出の対象外です。

